

学校名	明南小学校		
ホームページURL http://academic1.plala.or.jp/meinann/	児童・生徒数 287名		
(1) テーマ 「クロちゃん物語」  テーマの分類( ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください  学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他( ) 該当学年 3年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい 明科町に夕方たくさん集まってくるカラスに目を向け、調べたり観察したり世話をする。その体験をもとにお話や音楽を作ることを通して、いたずらものと疎んじてきたカラスも人間たちと同じ生活や命のあることを知る。自分中心の一方的な物の見方で物事を判断してはいけないということを感じてほしい。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・カラスについて調べる。(本・インターネット・聞き取り・観察) ・カラスを飼う。(小屋の計画・水換え・えさくれ・小屋掃除) ・体験したことや調べたことをまとめてカラスのオペレッタ・絵本・人形劇を作って発表する。 時数( 36 )			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・カラスを飼っていた地域の方にお話を聞き、カラスをお借りしてきた。 ・管理員の先生にお願いしてみんなで設計したカラスの小屋を作っていた。 ・世話をする時、アレルギーの子どもに対しては手袋の着用・直接ふれないことを配慮した。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・オペレッタ発表に関する練習時間は音楽の時間を当てた。 ・図工ではカラスの絵を描く、国語の読書の時間にカラスをとりあげた本の読み聞かせをする等、カラスを素材とする学習を各教科でもとりあげ、カラスに親しめるようにした。 ・人形劇・オペレッタ・絵本という3つのグループにより、「クロちゃん物語を完成させ、保護者・地域のお年寄りを対象とした発表会を計画している。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・途中何回か発表会を持ち、他から意見や質問を受けたり、他のグループ発表を聞くことで、自分たちの活動を評価し、次の課題を見つけて活動を深めてきた。 ・グループ活動においては、自分の考えや意見を出し、活動を展開しているかを見ながら、活動を細分化する事によって個の活動ができるように指導した。			
(8) 成果と課題 ・本やインターネット、家族や町の方から情報を集めたり、何気なく見ていたカラスを身近で観察できた。またまとめとして「クロちゃん物語」を作るという明確な課題を持ったためにめあてをしっかりと把握して活動できた。 ・最終的にクロちゃんを自然に戻したいと考えていたが、お借りした方に返すという事になって残念だった。 ・クラス全体やグループでの活動が中心であったので、個人で活動を展開していく力を育てるところまでいけなかった。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題( -ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境  
 -エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校  
 の特色に応じた課題